

- ① おおぜいの人がかいジヨウ【 】にあつまる
- ② けっせきのバ【 】あいはれんらくしてください
- ③ きちんと、トウ【 】てんをつける
- ④ きようかしよの文しようをヨ【 】む
- ⑤ がようシ【 】にかいたえをかざる
- ⑥ カミ【 】ひとえのさでおしくもやぶれた
- ⑦ じぶんのかんがえをイ【 】う
- ⑧ このコト【 】ばのいみがわからない
- ⑨ あるいてツウガク【 】する
- ⑩ いえのまえをまつりのみこしがトオ【 】る
- ⑪ かぞくそろってシヨク【 】じをする
- ⑫ おなかいっぱい、ごちそうをタ【 】べる
- ⑬ ゴジツ【 】あらためてうかがいます
- ⑭ ともだちがウシ【 】ろからこえをかけてきた
- ⑮ ゼン【 】ご左右をかくにんする
- ⑯ ころんでマエ【 】ばがかけた
- ⑰ いつもジ【 】しんをもってこうどうする
- ⑱ ミズカ【 】らのねがいをじつげんさせたい
- ⑲ 校ないのしよくぶつをブン【 】るいする
- ⑳ さんかしやを三つのグループにワ【 】ける

㊦ こわごわとタニ【】ぞこをのぞきこむ

㊧ タニガワ【】の水の音がきこえる

㊨ マイニチ【】げんかんのそうじをする

㊩ マイ【】あさはをみがく

㊪ くものかげにタイ【】ようがかくれる

㊫ フト【】いまつの木が立っている

㊬ あかるいシキ【】ちようのカーテン

㊭ イロ【】がみでつるをおる

㊮ でん車がいちジ【】かんおくれではっしやした

㊯ トキ【】おり、つよいかぜがふく

㊺ だいどころのしょうメイ【】

㊻ アカ【】るいへやで本をよむ

㊼ シュウ【】ぶんの日にはかまいりにいった

㊽ アキ【】になってすごしやすくなった

㊾ えきのひがしのハウ【】がくにびよういんがある

㊿ 正ハウ【】けいのタイルをつかう

㊽ おそろしきでガン【】めんがこわばる

㊾ かぜをひいてカオ【】いろがわるい

㊿ ともだちとのかいワ【】がはずむ

㊽ ちようれいで校ちよう先生のおハナ【】しを聞く

- ① おおぜいの人がかいジヨウ【場】にあつまる
- ② けっせきのバ【場】あいはれんらくしてください
- ③ きちんと、トウ【読】てんをつける
- ④ きようかしよの文しようをヨ【読】む
- ⑤ がようシ【紙】にかいたえをかざる
- ⑥ カミ【紙】ひとえのさでおしくもやぶれた
- ⑦ じぶんのかんがえをイ【言】う
- ⑧ このコト【言】ばのいみがわからない
- ⑨ あるいてツウガク【通学】する
- ⑩ いえのまえをまつりのみこしがトオ【通】る
- ⑪ かぞくそろってシヨク【食】じをする
- ⑫ おなかいっぱい、ごちそうをタ【食】べる
- ⑬ ゴジツ【後日】あらためてうかがいます
- ⑭ ともだちがウシ【後】ろからこえをかけてきた
- ⑮ ゼン【前】ご左右をかくにんする
- ⑯ ころんでマエ【前】ばがかけた
- ⑰ いつもジ【自】しんをもってこうどうする
- ⑱ ミズカ【自】らのねがいをじつげんさせたい
- ⑲ 校ないのしよくぶつをブン【分】るいする
- ⑳ さんかしやを三つのグループにワ【分】ける

㊦ こわごわとタニ【谷】ぞこをのぞきこむ

㊧ タニガワ【谷川】の水の音がきこえる

㊨ マイニチ【毎日】げんかんのそうじをする

㊩ マイ【毎】あさはをみがく

㊪ くものかげにタイ【太】ようがかくれる

㊫ フト【太】いまつの木が立っている

㊬ あかるいシキ【色】ちようのカーテン

㊭ イロ【色】がみでつるをおる

㊮ でん車がいちジ【時】かんおくれではっしやした

㊯ トキ【時】おり、つよいかぜがふく

㊺ だいどころのしょうメイ【明】

㊻ アカ【明】るいへやで本をよむ

㊼ シュウ【秋】ぶんの日にはかまいりにいった

㊽ アキ【秋】になってすごしやすくなった

㊾ えきのひがしのハウ【方】がくにびよういんがある

㊿ 正ハウ【方】けいのタイルをつかう

㊽ おそろしさでガン【顔】めんがこわばる

㊾ かぜをひいてカオ【顔】いろがわるい

㊿ ともだちとのかいワ【話】がはずむ

㊽ ちようれいで校ちよう先生のおハナ【話】しを聞く